



Web Fairy Paradise

第25号

今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第24回WFPフェアリー作品展
- ・ 推理将棋35回出題
- ・ OFM 第161回出題
- ・

結果発表

- ・ 第23回WFPフェアリー作品展
- ・ OFM 第160回出題
- ・ 推理将棋第34回出題
- ・ 第8回詰四会フェアリー作品展
- ・

読み物

- ・ 妖精賞の系譜(12)
- ・ お便りより 橋本孝治
- ・ 1手詰?コンクール追記



2010/7

はじめに

梅雨らしく雨も降り、梅雨明けて猛暑もすさまじい。地球はどうなっていくのでしょうか？

それはさておき、7月18日に町田市において詰将棋全国大会が開催され120名を超える人が集まり盛会だったようです。私は同じ日に開催されたバドミントンの試合に参加するため全国大会には参加出来ませんでした。まあ結果は優勝して四国大会への出場権を何とか獲得でき最低のノルマは達成したかな。ただ本音で言えば詰将棋全国大会に行きたかったですねえ。やっぱり。

参加者名簿がまだ出てないのでどなたが参加されたか全ては分かりませんが、フェアリストでは神無七郎さん、加賀孝志さん、NAOさん、洞江さん、志賀さん等の名前が見受けられました。会場でどれだけお話されたか興味深いところではあります。

普通詰将棋の解答競争なども面白いのは面白いですが、そろそろ見飽きたころでしょう。そろそろばか詰解答競争なんてどうですか？？次の大阪でぜひ・・・なんて

話は変わりますが、詰パラ7月号で平成21年度妖精賞が発表されました。現在の妖精賞は担当者の独断で決まる賞ですが、なんと拙作が長編賞を受賞してしまいました。(パチパチ)フェアリー作品で賞と言うものをもらうのは初めての事ですので素直に喜びたいと思います。しかし作者も予想していない強欲ばか詰の煙詰が受賞とはこれは私もびっくり。超難解の取禁ばか詰や桂づくしの強欲ばか詰など作者お気に入りもあったんですがねえ。短編賞の受賞作品を見てもちょっと違う感覚と感じられるのでそんなもんなんでしょうねえ。

最後に告知

神無七郎さんの Onsite Fairy Mate に新コーナーが出来ています。Web源泉館というコーナーで神無三郎氏の「源泉館」シリーズからランダムに出題されます。好形の5手協力詰が揃っていますので、解答に自信があるかたもない方も挑戦してみてください。お楽しみいただける事間違いなしです。

URL は右をご覧ください

【 募 集 】

作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。

感想

第24号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん：takuji@dokidoki.ne.jp

協力いただいている方々のHPアドレス

* ご協力感謝します

妖精都市

<http://www.geocities.jp/cavesfairy/>

詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

Onsite Fairy Mate

<http://www.abz.jp/~k7ro/>

K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

イラスト・素材提供：幻想素材サイトFirst Moon

<http://www.first-moon.com/>

* 表紙のイラストを使用させて頂いております。

[作品投稿要項]

- 1) 作品投稿は随時受け付けています
- 2) ルールは不問です。フェアリー系ルールならばかしこでも可です(安南詰 etc)
- 3) FM 等で検討済みの場合はその旨を付記して下さい
- 4) FM 等で検討出来ない場合は検討の手伝いをします

[解答要項]

解答締切：平成21年 8 月 15 日

本作品展は、正式発表とし TOP IX の対象となります。また解答のコメントは結果発表にて掲載いたしますのでご了承下さい

作品投稿及び解答は

webfairyparadise_you@yahoo.co.jp

をお願いします

余詰・近況報告は

<http://circe-pro.cocolog-nifty.com/blog/>

で行っています。確認の上、解答下さい

【入選回数一覧】

ルール説明

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方玉を詰ます

【協力白玉詰】

先後協力して最短手数で攻方玉を詰ます

【最悪詰】

攻方はなるべく相手玉が詰まないように王手し、受方はなるべく早く白玉が詰むように応じる。千日手は許容するものとする

【鏡】

玉の利きが、王手をした駒の利きになる

【強欲】

攻方、受方とも、駒取りの手があるときは、駒を取らない手を禁手とする。駒取りの手がなければ、駒を取らない手は有効

【Messigny】

- 1 盤上に置かれている双方の同種の駒(玉を含む。成駒は別種の駒として区別する)は 1 手でその位置を交換することができる
2. 交換する時に駒を裏返すことは出来ない
3. 行き所のない駒や、二歩が発生するような交換は禁手
4. x と y の位置にある駒を交換する着手を y / x で表す

【前置き】

並び変えが面倒なので前回と同じ並び順です。

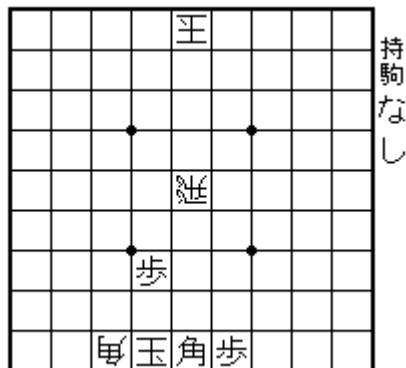
この前置きもいるのか要らんのかよく分かりませんが毎回適当に行数調整で書いている。気付けばそろそろ 2 年目に突入ですか……

最近は専らかしこの方ばかりやっていてフェアリーの方は余りやってません。1 年に一回やってくる災厄も今年は面倒という理由で回避してしまいましたし。まあ、御蔭で数年分のストックが出来ました。一応、凌げるはず
今回は messigny が難しいかもしれません。他はそれ程難しくはないはず。恐らく、多分

【妖精】

【第壹番】 雲海氏作

鏡協力白玉詰 8 手

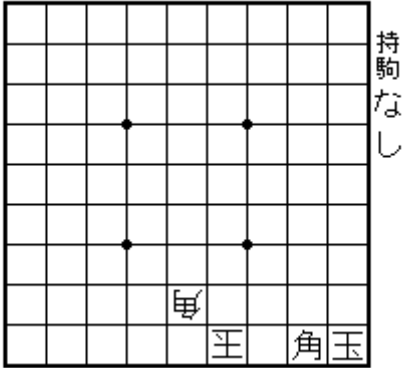


【第貳番】 たくぼん氏作

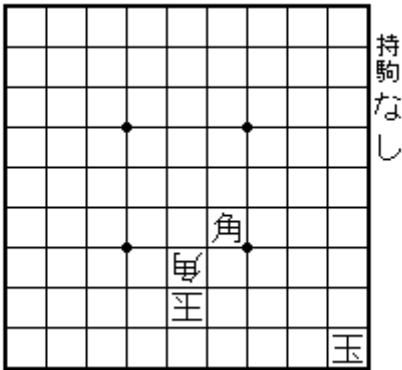
強欲協力詰91手



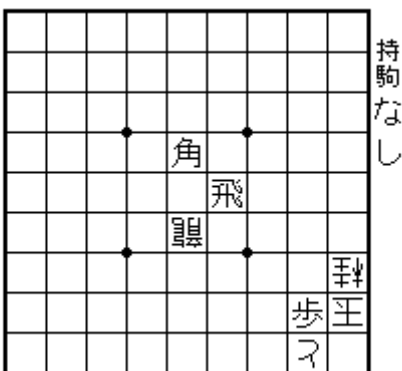
【第参番】 神無太郎氏作
Messigny 協力自玉詰10手



【第四番】 神無太郎氏作
Messigny 協力自玉詰10手



【第伍番】 真T氏作
最悪詰9手



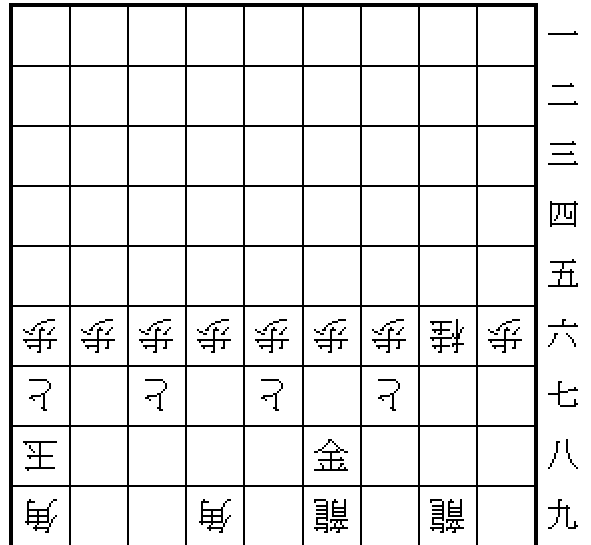
Onsite Fairy Mate 第161回出題

開催日 : 2010年 7月 11日(日)
解答締切 : 2010年 8月 7日(土)
解答発表 : 2010年 8月 8日(日)

神無七郎 作

取禁協力詰 165手(牛=猛牛)

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 牛

【ルール説明】

協力詰 (=ばか詰)

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

取禁

詰手順中に駒を取る手があってはならない。
詰や王手の概念は通常通り。(駒を取れないので王手ではない、などとはしない。)

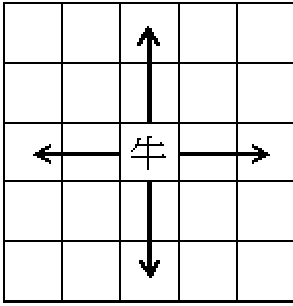
牛(猛牛)

大将棋の猛牛。縦横に2マス動ける。飛び越えては行けない。

(2マスまで動ける飛車とってください。)

この問題では牛は成りません。

また、本局の使用駒は牛1枚と標準の詰将棋の駒です。



本作の解答を管理人宛

(janacek789@ybb.ne.jp) に E-mail でお送り下さい。

【コメント】

今回の出題は古将棋のひとつ「大将棋」の駒である「猛牛」を使った作品です。

将棋類には各時代、各地域で様々な変種が存在します。日本に限っても現在の将棋とは異なる多くの「将棋」がかつて存在し、うちいくつかは今も生き残っています。古将棋の駒は Wikipedia の「将棋類の駒の一覧」で見ることができますが、これはとても覚えきれない数です。

古将棋の駒には現在の将棋の駒にはない特異な性質を持つものがあります。駒の利きが左右対称でないもの、2手分の動きができるもの、駒を取るのに条件が付いているものなどです。

そして今回紹介する「猛牛」の特徴は「限定走り」。飛角香のように無限の射程距離を持つ走り駒と異なり、「猛牛」は2マスまでしか進めません。「それじゃ猛牛というより鈍牛だよ」なんて思う方もいらっしゃるかもしれませんが、「猛牛」は玉より足が速いので意外と強力です。合駒を発生させられる所は飛車と同様ですが、場合によっては王手を掛けられた方向にも玉を逃げる事ができる所は飛車と異なります。実際に動かしてみれば、その独特な味わいを感じることができるでしょう。

将棋類の変種の開発は今も行われており（最近ではどうぶつ将棋が有名ですね）、実際に対戦して遊ぶ「実用性」を無視していろいろと妙な駒を作って遊ぶのも良いでしょう。例えばアンサイクロペディアにある森羅万象棋には実用性は考慮外の、ギャグ、パロディ路線の創作駒が

いっぱい並んでいます。もっとも、「取禁」などという対戦にはまったく不向きなルールを扱うようなこのサイトですから、いつかこのギャグ路線から引っ張ってきたネタが登場しないとも限りません。そもそも将棋の「取った駒を再利用できる」というルールだって元は単なるギャグだったかもしれないじゃないですか！

ちなみに、今回出題の作は「第8回詰四会フェアリー作品展」第2番（WFP第24号にて出題中）の姉妹作。難しい作品ではありませんが、WFPの発刊周期とのずれの調整のため解答募集期間を通常より1週長い4週としています。のんびりしすぎて解答締切を忘れないようご注意ください。

（担当：神無七郎）

推理将棋第35回出題

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第35回出題です。はじめての方は

どんな将棋だったの？ - 推理将棋入門

(http://toybox.tea-nifty.com/memo/2007/05/post_53f2.html) をごらんください。

解答、感想はメールで2010年7月20日までに TETSU まで (omochabako@nifty.com) メールの題名は「推理将棋第35回解答」でお願いします。

推理将棋第35回出題 担当 タラパパ

初級問題不足との担当者の嘆きに応じて、DD++さんが数局、いかにも初級という問題を投稿して下さいました。

また来る詰将棋の全国大会で、推理将棋アトラクションが予定されています。アトラクション方式もほぼ決まり、ミニベロさん、DSKさんなど当コーナー常連の方々が、9手初級用新題をたくさん作り、いま適問を選別中です。ここでこぼれた問題が、当コーナーに回ってくると、しばらくの間、初級問にはこと欠くまいと、手ぐすね引いていたりして(笑) 会場は次の通りです。お時間のとれる方はぜひご参加ください。

7月18日(日)11時～(於: 町田市健康福祉会館、会費: 一般 1500円)

当コーナー、しばらく難問を外していたら、物足りないという声も。

「さぐり」の意味も兼ねて今回は、自作から上級2題を実験出題。

難かしい代わりに、やや過剰気味な条件と大きなヒントをつけてみました。

文章は誰かさんのパクリという噂も。

更に初級問題は、いただいた中でも難しい問題を選んだつもり。

35-1 初級 DD++さん作
角交換の罠 9手

後手玉が動いたのは、4筋でしょうか、6筋でしょうか？

35-2 上級 タラパパ作
4枚目の歩 11手

歩以外の駒を取らずに詰める代表的な手段は？

35-3 上級 タラパパ作
小金持ちII 11手

会話のニュアンスからは、歩以外の駒取りもあったようです。

追記 (7月4日 タラパパ)

よく見れば、35-2はぜんぜんヒントになっていませんね(汗)
あらためて第一ヒントです。

35-2: 双方合わせて、使った駒は3種類(馬と角を同種として)。

※ ついでに... 注釈は条件を満たすことの意味を正確に伝える目的で付けましたが、本問では取った駒は4枚、"同"は1回です。

七夕を祝って中間ヒントです。(7月7日 タラパパ)

35-1: 5手目と7手目9手目の着手は同じ場所。

35-2: 5手目以降先手が指したのは馬の手のみ。

35-3: 11手の中に駒取りが7回あります。

それでは、いつものヒントです。(7月14日 タラパパ)

セタヒントを出したので、合わせるとかなりのヒントに。

35-1：5手目駒打ち～7手目駒取り～9手目駒打ちです。

35-2：後手玉の腹に角のいる単騎詰を目指してください。

35-3：5～11手の7手に「空所に駒を動く手」はなく、駒を打つ手があります。

35-1 初級 DD++さん作 角交換の罠 9手

「あら、たった9手で負けちゃった」
「76歩、34歩、22角成、同銀と角交換したところまでは普通だったのにな」
「この交換は罠だったのかなあ」
「そういえばこの将棋、5筋の手は51金しかないんだね」

(条件)

- ・ 9手で詰み
- ・ 指し始めは「76歩、34歩、22角成、同銀」
- ・ 5筋の手は「51金(棋譜上)」のみ

35-2 上級 タラパパ作 4枚目の歩 11手

「隣の将棋はあつげなかつたな。11手で詰んじやつた」

「先輩も見てました？ボクもしっかり見てましたよ」

「先手は歩を4枚も取ったけど、中でも”同”のつく手で4枚目の歩を取った時は、指がしなつてたなあ」

「そうでしたねえ～」

「歩以外の駒取りが、まったくなしに終わるのも珍しい」

「もしかしてそっちの隣？ボクが見たのは不成が3回出たこちら隣なんですけど」

◎先輩の見た将棋

(条件)

- ・ 11手で詰んだ
- ・ 先手が取った4枚目の歩は、”同”のつく着手だった
- ・ 歩以外の駒を取る手はなかつた

※ 先手が取った駒は歩が4枚だけとは限らず、”同”が1回とも限りません。

35-3 上級 タラパパ作 小金持ちII 11手

会話は上と同じ

◎後輩の見た将棋

(条件)

- ・ 11手で詰んだ
- ・ 先手が取った4枚目の歩は、”同”のつく着手だった
- ・ 不成が全部で3回あつた

※ 先手が取った駒は歩4枚だけとは限らず、「同」が1回とも限りません。

第 23 回 WFP 作品展結果 担当 紅月花煉

解答者数：4名

5題正解者：神無七郎氏 隅の老人B氏
たくぼん氏

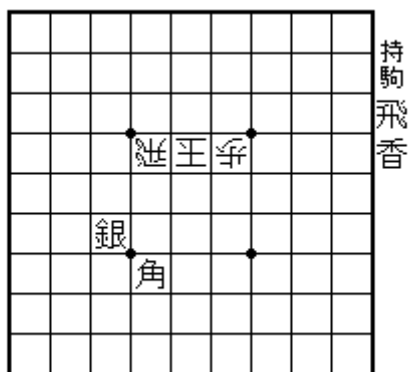
4題正解者：雲海氏

【前置き】

四番、伍番が難しかったようです。簡単なように見えたのは担当の錯覚でした。酷い話です

【妖精】

【第壱番】 雲海氏作
協力詰 5手



【作意】

56香 45玉 52香成 54玉 53飛 迄 5手

【作者コメント】

超短編協力詰が最近ないので1作。既視感があるかもしれませんが、やってみたかった筋です

【担当者コメント】

原型から4手掛けて52に成香を発生させると1手で詰むという構図。合駒を取るという選択がないから比較的に見えやすいが巧く出来ている

【短評】

神無七郎氏：

成香発生詰型の想定すれば一瞬で解けますが、力づくで解こうとすると手こずる作品です。2段目で止まる香は、行き詰まり氏作「新たなる殺意」を連想させます

隅の老人B氏：

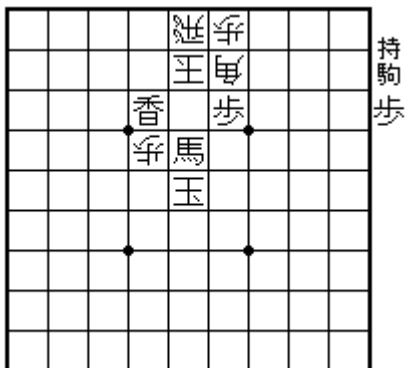
限定打に限定成、たったの5手でも悩みは多し

たくぼん氏：

思わず汗をかきました。1足長い52香成がナイス！

【第貳番】 たくぼん氏作

アンチ協力自玉詰14手



【作意】

62香成 同玉 63歩 61玉 62歩生 52玉
63馬 43玉 53馬 34玉 52馬 35玉
53馬 同角/22角 迄 14手

【作者コメント】

狙いは最後の両王手ではなく、その準備での63香→62歩の小技です

【担当者コメント】

復活による詰上りは見えているので後はどうやってその形にするかが課題。その形にするには54にいる馬を動かさないといけないので63の地点を空ける為の打ち換えは見えやすい所かと思えます

【短評】

雲海氏：

詰上がりが見えるので、どうやって46の地点へ王を動けなくするかが肝心。

しかしアンチキルケっぽいのは最終手だけです（笑）

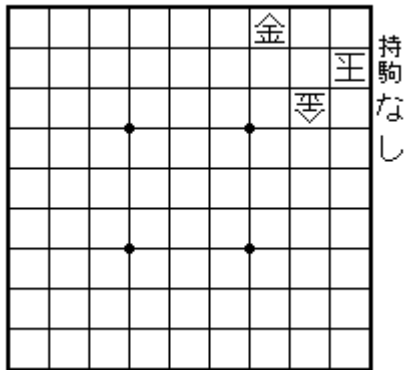
神無七郎氏：

復活両王手の詰上りが見えているので解くのは易しいですが、香から歩へと、弱い駒に打ち換える序が入ったのが収穫。51地点が埋まったアンチキルケは、攻方は駒が取りにくく受方は駒を取りやすいという性質があるので、何かうまい応用があるかもしれません

隅の老人B氏：

まさか、ここまで敵王を追い出すと！64歩を取れないのが、惜しいねえ

【第参番】 神無太郎氏作
Messigny 協力詰11手



【作意】
23 金 /31 金 21 玉 31 金 /23 金 22 玉 32 金
12 玉 23 金 /32 金 21 玉 32 金 11 玉
22 金打 迄 11 手

【担当者コメント】
最初4手掛けて玉の位置を12→22にずらすと相手の金を32に交換できるようになり詰む仕組み。難しくはないがルールを生かした手順で楽しめます

【短評】

雲海氏：

3手目が少し盲点でした。そういえば41金の配置は誤図とのことですが、それでも9手の完全作でした。面白い偶然

*不幸中の幸いでした??なるべく無くそうと努力すればする程増えている気がします

神無七郎氏：

1手目と3手目の連続交換が協力詰らしい手順。一見無駄っぽい(でも本当はそうじゃない)手は、どんなルールでも妙手になります。

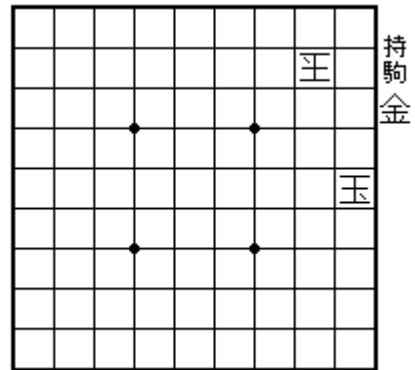
隅の老人B氏：

交換、位置替えばかりを考えた。取る手が盲点、取れるとはね

たくぼん氏：

非限定なしを考慮すれば32で金を取って11玉で詰上りは明白!元に戻す3手目はちょっと面白い

【第四番】 神無太郎氏作
Messigny 協力詰17手



【作意】
13 金 15 玉 /22 玉 14 金 25 玉 15 金
34 玉 24 金 22 玉 /34 玉 33 金 11 玉
同王 /34 玉 24 玉 34 金 13 玉 23 金
11 玉 /13 玉 12 金 迄 17 手

【担当者コメント】

玉金だけしかないので詰上りは、先手玉は金の効き範囲内にある形しかありません。3枚の位置関係に気を付けて王手が続くように微妙に形を変えていく手順が見事です

【短評】

雲海氏：

ミニ趣向とも言えなくもないですか。このルールで双裸玉&持駒金1枚の最長手数かな? 神無七郎氏：

10手目の11玉が手が途切れるようで実に指しにくい手。私の場合は詰上りを想定して逆算でこの手を見つけましたが、正算でこの手を指せる人はいるのでしょうか?

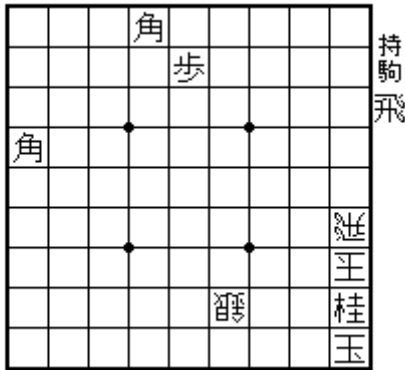
隅の老人B氏：

孫(中学生)が近づいて、盤上をチラリ。「爺ちゃん、また詰将棋?こんな詰むはずがないよ」ルールを説明、二人がかりで考える。やっと解けた?ら、孫は何処かに消えていた

たくぼん氏：

最後22金ではあつと言う。それにしてもMessignyって面白い手順があるもんですね

【第五番】 真T氏作
最悪詰25手



【作意】

27 飛 同玉 72 角引生 17 玉 27 角成 同玉
72 角生 63 桂 同角生 54 桂 39 桂 同銀生
54 角成 45 角 同馬 36 歩 同馬 同飛
28 歩 16 玉 43 角 17 玉 16 角成 同飛
29 桂 迄 25 手

変化：

【初手】

37 飛は、27 桂、同飛、同玉で
72 角引生は、36 桂、39 桂、同銀生、49
角、38 飛、36 角成、同玉、58 角、27
玉、36 角、17 玉、29 桂迄
72 角上生は、36 歩、39 桂、同銀生、36
角成、同飛、28 歩、16 玉、51 歩成、43
桂、同角成、34 角、同馬、同飛、25 角、
17 玉、29 桂迄

【3手目】

72 角上生は、36 桂、同角成、同飛、39
桂、16 玉、51 歩成、43 桂、同角成、
34 桂、28 桂、17 玉、44 馬、26 桂、
同馬、同飛、29 桂迄
72 角引成は、63 桂、同馬、36 桂、同
馬、同飛、39 桂、同銀生、49 角、17
玉、29 桂迄

【7手目】

72 角成は、63 桂、同馬、54 桂で
同馬は、36 桂、39 桂、17 玉、44 馬、
26 飛、29 桂、16 玉、34 馬、25 香、同
馬、同飛、17 香迄
39 桂は、17 玉、53 馬、26 飛、同馬迄

紛れ

【4手目】

63 桂は、49 角、同銀生、63 角生、54

桂、39 桂、以下逃れ

36 桂は、49 角、38 飛、36 角成、同玉、
58 角、27 玉、39 桂以下逃れ

【作者コメント】

前作の収束を考えているときに浮かんだ筋を作品化しました。主題としては7手目 72 角生からの攻防です。合駒の順序、角成・39 桂のタイミングは自然に限定になってくれたのですが、43 角を限定させるための52 歩は涙の配置。それをごまかすための序の角消去です。その変化で52 歩が動くので一応顔は立ったかなと思います

【担当者コメント】

27を塞いだ形で先手が桂を打たないといけない局面になると詰むという構図です。その形を後手は目指す事になります。まずは、27玉の形で61角と52歩のバッテリーが残っていると飛が動いた時に16に逃げられて困るので消去するという序奏から始まります。そして、72角生に対してどう受けるかが問題になります。角が成るという選択肢がない状況で先手が桂を持って17玉に逃げられると詰んでしまうので先手は4段目より上では馬でないとダメです
という事で桂を渡すのですが先手は39の地点で1枚消費する事が可能なので最低2枚渡せないといけません。なので、63桂～54桂になります。39で1枚消費させて54角成と取った局面が次の問題になります。27を捨てる事が出来ない駒で塞ぎたいのですが単純に合駒して17に逃げると先手の駒が馬なのでその馬で王手されて逃れてしまいます。それを避けるために、作意手順のように角合～歩合して27を塞ぎ、43角～16角成と捨てさせる事で目的を実現します

【短評】

雲海氏：解けません・・・
神無七郎氏：

飛は離すか直打ちか？ 角は入るか引くか？
合駒の順番は？ 生か成か？数多い選択肢と微妙な局面の差異に惑わされ大いに混乱しました。当初は桂3枚を入手する筋を想定していたものの、読み進めると桂角歩という異種の合駒の組み合わせが出てきて、ただただ唾然.....61角による開き王手の変化が、43角によって（結果的に）遮蔽駒である52歩を飛び越えた形で実現するという構成も見事です。前回と同じ素材の応用だと思いましたが、

極めて高度な作品だと思います

隅の老人B氏：

苦勞して解いてから、創作過程を考えた。最終図より一手づつ戻す、「成る程、成る程」好手が続く、合駒も難手、よくも此処まで延ばしたり。解くより、創る方が簡単？いいえ、B爺さんは、創れない

たくぼん氏：

恐ろしいまでの変化・紛れ。手書きの樹形図は7枚を超えた。初手は離すのか離さないのか？どっちの角を先に成るのか？中合いの駒は・・・？そして作意の角合による16封鎖！見事としか言い様がない

【総評】

神無七郎氏：

今回は【第四番】がやや難解、【第五番】がかなり難解、他は比較的容易といったところでしょうか。私の好きな長編分野の作はありませんでしたが、狙いが明快な作が多く、全体として充実した回だったと思います。

隅の老人B氏：

7月中旬、梅雨前線が未だに日本列島に居座っている。今日も雨、遊びに行きたし、金は無し。B爺さん、仕方がないので、フェアリーです。遠くで婆ちゃんの声がする、「爺ちゃん、晩御飯」「梅雨天如墨」、気が付けば、もう夕方。解けたのは、たったの2題、これで今日は終わりです。雨の日もよし、日々是好日。

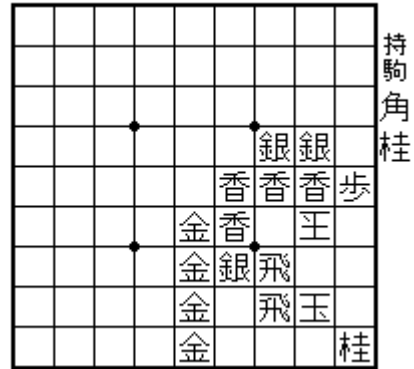
お便りより

橋本孝治

第21回 WFP 作品展感想 等

第21回 WFP 作品展の結果が発表されましたので、その感想を送ります。

第5番 たくぼん氏作 協力自玉詰 66手



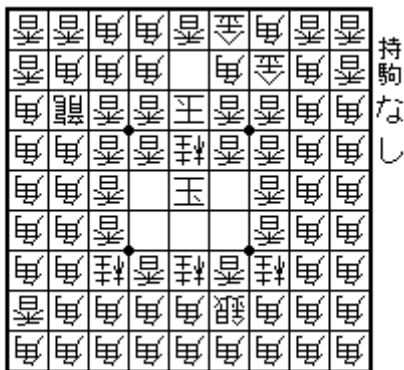
桂を14に跳ねることは予想の範囲だったのですが、48地点が空いているのでここに角を打つか、空き王手で48飛の形を作る手順しか読んでいませんでした。

作意を見ると48角など影も形もなく、根本的に想定が誤っていたことが分かりました。ちなみに私の読み筋は以下の通りでした(大幅な手数オーバー)

27 飛 16 玉 17 飛 26 玉 16 飛 同玉 36 飛
26 飛 同飛 同玉 16 飛 同玉 49 角 38 飛
同角 27 桂 18 飛 17 飛 同飛 26 玉 27 飛
16 玉 37 飛 27 桂 18 飛 17 銀 同飛 26 玉
27 飛右 16 玉 36 飛 26 歩 37 飛寄 27 角
26 飛 同玉 18 桂 同角生 27 飛 16 玉 37
飛 27 飛 同角 同角生 18 飛 17 歩 同飛
26 玉 27 飛右 16 玉 17 飛 26 玉 16 飛 同
玉 49 角 38 飛 同角 27 桂 18 飛 17 歩 同
飛 26 玉 27 飛右 16 玉 36 飛 26 歩 37 飛寄
27 角 26 飛 同玉 18 桂 同角生 27 飛 16
玉 37 飛 27 飛 同角 同角生 36 飛 同角生
18 飛 17 角 同飛 26 玉 16 飛 同玉 49 角
38 飛 同角 26 玉 27 歩 16 玉 18 飛 17 飛
26 歩 同玉 37 銀 同飛生 27 歩 同角生
16 飛 同角生 27 歩 同角生 18 桂 同角生
27 歩 16 玉 26 歩 27 飛打 同角 同角生
18 飛 17 角 同飛 26 玉 18 桂 同角生 27
飛 16 玉 17 飛 同飛生 49 角 38 飛 同角

27 桂 同角 同角生 36 飛 26 角 同飛 同
玉 48 角 37 飛 18 桂 同飛成 まで 136 手

第 6 番 雲海氏作 成禁協力自玉詰 9112 手



先手持駒 金4555銀
後手持駒 なし

私の解は作意通りでした。
まさか、金が下段に来た後も移動に加わるとは
思いもしませんでした。
序さえ変えるだけで修正できるなら、ぜひ修正
して欲しいと思います。

以下は余詰の報が流れる前に書いた短評です。

龍も銀も足の速さは同じ。でも内側のコースを
走っている龍は、角を曲がるたびに外側のコース
を走っている銀に一つずつ近づきます。
トラックを交換できるのは横に並んだときだ
け。時々手旗信号が振られるので、そのときは
逆に向かって走らなくてははいけません。近くて
遠いゴール（53 地点）を目指して、龍はひた
すら走り続けます。

「周期の異なる複数の機構を連動させて、より
大きな周期を作れるか」というのは私が大学生
のころから既に提起されていたテーマでした。
普通詰将棋の世界ではいまだにそんな機構は実
現されていませんので、やはり大変難しい課題
なのでしょう。フェアリー駒やフェアリー盤を
使って実現した例は上田吉一氏「極光Ⅱ」にあ
りますが、駒の数さえ充分あれば普通の盤駒で
もそれが実現可能であることを示したのが、本
作の最大の意義だと思います。また、単純に機
構をそのまま実現するだけでなく、適度に考

えどころを置いて、詰将棋らしい謎解きが楽し
めるのことも、本作の価値を一層高めていると
思います。

話は変わりますが、森茂作ばか自殺スタイルメ
イト 80 手の修正は諦めたわけではなく、別の
修正案を試しています。具体的には雲海氏作修
正案から「89 銀」を「89 と」に替え、
「64 と」を「62 銀」にした形です。森氏ご
本人ならもっと良い修正案を出されると思いま
すが、とりあえず良否は置いてまずは修正が可
能かどうかを確かめたいと思います。ただ、マ
シンが他の作業に占有されてなかなか空き時間
を作れないので、f mでの検討が完了するまで
にはまだまだ時間が掛かりそうです。現在上記
の修正案で収束の 63 手に余詰がないことは確
認が済んでいます。もしこの検討に自分のマシ
ンを使っても良い、という方がいらっしゃいま
したらぜひお申し出ください。

【訂正】

今更とは思いますが、WFP24 号掲載の「1
手詰？コンクール」の結果稿に誤記ありまし
たので、訂正させていただきます。

P.32右 終わりから 2 行目

- (誤) 「14 歩 同角 25 角 同角」×2
- (正) 14 歩 同角 25 角 同角

つい勢いに乗って×2と書いてしまいました
が、もちろん角は 3 枚ありません。

P.S.

上記は全国大会で NAO 氏ご本人から指摘し
ていただいたものです。

Onsite Fairy Mate 第160回出題解答

開催日 : 2010年 6月 13日(日)
 解答発表 : 2010年 7月 4日(日)

神無七郎 作

キルケ受先協力千日手 18手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
						王		王	六
								歩	七
							飛		八
									九

持駒 なし

【ルール説明】

協力千日手 (=ばか千日手)

先後協力して最短手数で最初の局面に戻す。

受先

受方から指し始める。

キルケ

駒が取られると最も近い将棋での指し始め位置に駒が戻される。戻せないときは持駒になる。

【手順】

17 玉 27 飛 16 玉 26 飛 15 玉 16 飛
 24 玉 13 飛成 同玉 /28 飛 18 飛
 16 歩 同飛 24 玉 26 飛 15 玉 16 飛
 同玉 /28 飛 17 歩 まで 18 手

【解説】

本邦初(?)の受方から始まる協力千日手作品です。きっかけは「氾濫 32」の金子清志氏作を見て「この飛を合駒で発生させられないだろ

うか」と考えたことでした。

攻方から始まる協力千日手だと合駒は手順の途中に出現することになりますが、受方開始ならば初手から合駒を読ませることができます。もしそれが千日手を成立させるための重要な鍵となる手なら、更に効果は大きいでしょう。

本作は“受先”を合駒の発生に使っていませんが、これを“攻先”にして歩を持駒にしても、あるいは18に置いても簡単な早詰があることを確認してください。“受先”と“攻先”は単にループの開始地点が異なるだけでなく、ループの軌道自体が大きく変わる可能性がある——つまり、受先協力千日手では通常の協力千日手にない手順が実現できる可能性があるのです。

何だかルール設定の話ばかりになってしまいましたが、一応手順にも簡単に触れておきましょう。初手で歩が消えるのはほぼ必然ですが、「キルケ」という条件を考えると初手で消えた歩を取り返す手段は2つです。歩の復活箇所は3段目なので、3段目の歩合を攻方の駒(飛または龍)で取るか、3段目を受方の駒(玉)で埋めた状態で歩合を取るかです。結局効率が良いのは後者で、初形に戻すのに都合の良い合駒位置を考えると、16歩合が限定であることが分かります。

本作はこのルールでの試作品的な存在ですが、ミニ趣向的な手順が出てくるので、意外と自分でも気に入っています。

【正解者及びコメント】 (正解6名:到着順)

雲海さん

飛の復活(復活は1回だけかと思っており、2回あるのは想定外でした)を駆使してミニ往復玉鋸が出来るとは、粋な小品ですね。

受先の協力千日手は確かに面白そうですね。個人的にはある協力千日手の作があって、受先にしたら異なる手順が成立する作を見たいです。

☆ 雲海さんの仰る通り、攻先と受先のツインはできそうですね。ただ、詰将棋には「王手義務」があって攻方手番と受方手番の配置が同じにできないのが難しいところです。ただ、受先を「奇数手」にして「協力千日手」ならぬ「協力手渡し」(先後協力して盤上配

置・持駒が同じで手番だけが初形と異なる局面に最短で到達する)とすれば可能だと思うので、実際にやってみてはいかがでしょう？

北村さん

久し振りに解けました。2回は復活して及第点。易しくて手が狭かったはずが、意外と時間がかかりました。

☆ 北村さんは第134回出題以来久々の解答。「復活」が特徴のキルケルールで復活というのもなかなか粋ですね。また創作・解答両面で活躍されることを期待しています。

若林さん

後に17歩の王手を実現するには歩を取らせて取り返すしかない。受方の手数は玉が17-x3-16と移動するのに8手、歩合に1手でぴったり。普通に追うと13玉16飛の形になってしまい玉がスムーズに運べない。キルケによって13玉18飛の形にして16歩合を実現する。シンプルですが飛車のキルケが繰り返されるので味が良いです。

☆ 本作の唯一の見どころは飛が(1回ではなく)2回復活することなのですが、この辺は皆さんにも好評で良かったです。ただ、「受先」の協力千日手で何がやれるかというのは、私もよくわかりません。この作を見て「自分ならもっと上手くやれる」と思う人がどんどん出てくると良いと思います。

たくぼんさん

出来た~と思ったら17手。早詰? ?いえいえ手数は守らねばいけません。ばか千日手では王取って打ったり出来る王手放置可の条件付作品も面白そうかな。

☆ 17手だと初形の局面に戻っていませんよ。つつい普通協力千日手の癖が出て、受方の手番で終わらせてしまったようですね。先にも書きましたが、受先だと「手渡し」を目的にするのが良さそうです。「果報は寝て待て」で鍛えられているたくぼんさんなら、きっとこのルールでも良い作品を作れると思いますよ。

隅の老人Bさん

取られたら定位置に戻るが、戻れない時もある。なるほど、「ルールをよく読みましよう」、ですね。

☆ 隅の老人Bさんの解答は暑中見舞いも兼ねられていて、暑中解図に精を出されている様子が伝わってきました。私はもう暑さと戦うのは諦めてエアコンをつけっぱなしにしています。根性ゼロです。(だから余計に体が弱くなるのでしょうか…)

瘋癲老人さん

易しいとはいえ正算では解きづらい。収束16に飛車を捨てるのが必然ということで歩合いは6段目に決定。

☆ 協力千日手を純粹に正算で解けるのはf mくらいでしょうねえ。やはり後ろと前と両方から読んで、繋がりやすい手順を探すというのが常道だと思います。本作の16歩合などは、そういうやり方でないとなかなか見つけられないと思います。

☆ 今回からSilvelight版の「動く盤面」をバージョンアップしました。今まで味気ないテキスト表記だったので、少し見た目を将棋盤っぽくしたのが主な変更点です。本当は「拡張機能」もいろいろ付ける予定だったのですが、まだ中途半端なのでその大半は隠してあります。(もし、半端な機能が表に出てしまっていたらごめんなさい。いつかこっそり直します。) 次回の出題作品は未定。詰将棋全国大会でアピールすれば解答が増えるかもしれませんが、肝心の作品の在庫がパツとしないものばかり……この一週間はちょっと頑張らないとだめですね。

(2010.7.4 七郎)

第8回 詰四会フェアリー作品展結果

課題：プロ野球に因んだ作品

細々とですがやっている詰四会フェアリー作品展も第8回になりました。詰四会に参加される方でフェアリストは少ないので投稿頼みではありますが今後ともよろしくお願ひします。今回は2題と少なめの出題でしたが、第1番のルール名と手数に及び腰になったか、第2番の難解さ？の為か解答者数わずか3名という結果になってしまいました。他の作品展も同様なのですが解答者不足が現在のフェアリー界の大きな悩みです。何か特効薬はないものか・・・

第1番 神無太郎作

PWCばか自殺スタイルメイト 14手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				王					一
									二
									三
									四
					歩				五
									六
							王		七
									八
					角			角	九

持駒 香

後手：持駒無制限

【手順】

59 香 57 角 同香 /59 角 56 角 同香 /57 角
55 角 同香 /56 角 54 角 同香 /55 角 53 角
同香生 /54 角 52 角 同香生 /53 角 同玉
まで 14 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
				王					二
				角					三
				角					四
				角					五
				角	歩				六
				角					七
							王		八
									九

持駒 なし

【作者コメント】

中日ドラゴンズにちなんだ作
詰上り「八角」→はつかく→初「郭」
※→郭源治

※

1981 年中日入団：郭源治
1985 年西武入団：郭泰源
1993 年阪神入団：郭李建夫

橋本孝治

6枚の角を貫通する強力な弾丸のような香。でもこの香のせいで攻方の王は捕まってしまいました。ということで「中日」の意味付け（こじつけ）は、持つてはいけなないものを持つていたために捕まってしまったネルソン投手にちなむもの、としておきましょう。

雲海

「中日」の意味はさっぱり分からず。58の地点が空いているのがヒントかなあ。

若林

49 角（不要駒）が中日と関連しているのでしょうか。四球（死球）が不要→少ないとか？あるいは郭（角）でなにかあるかもしれませんが分かりません。手順は良くも悪くも一本道で素直。

★補足しますと、49 角は詰上りでは無くてもよい駒ですが、余詰防止で必要な駒です。無いと2手目 57 飛～56 飛合として 59 飛、57 飛型の詰上りがあります。

赤土陽一

持ち駒が無制限で、46歩を動けなくするに

はピンするしかないから、大駒の連打と見当をつけて解きました。角の睨みで身動きできなくなっている詰め上がりは、急な大雨で、軒先から出られずに、ずぶぬれになって呆然としている様子に見えました。

NAO

贅沢な角の投資。玉の利き5と歩のピンに1、角を1枚復活させても玉の利きを1個しか減らせない。

- ★ 他の合駒を考えれば膨大な量の手を読まないといけませんが、基本的に PWC は駒を取れない順が主流となりますのでその合駒を利用して先手玉を縛る駒配置を考えていけば自ずと答えは見えてくるでしょう。

第2番 神無七郎作

取禁協力詰 59手

フェアリー駒=20S:牛#2

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
		皇	皇	皇	皇	皇	皇		二
		歩					歩		三
		皇	王	王	王		皇		四
					王				五
				牛	牛				六
		香	歩	歩	歩	歩	香		七
									八
									九

持駒 なし

注：受方の持駒は通常の駒残り全部。

【手順】

66 牛 55 玉 56 牛左 65 玉 55 牛 64 玉
 66 牛 65 と 54 牛 63 玉 53 牛 64 玉
 63 牛 55 玉 53 牛 54 飛 56 牛 44 玉
 43 牛 35 玉 33 牛 34 銀 36 牛 45 玉
 43 牛 44 飛 46 牛 54 玉 56 牛 55 と
 53 牛 45 玉 46 牛 35 玉 36 牛 45 玉
 35 牛 56 玉 36 牛 46 と 54 牛 65 玉

55 牛 64 玉 54 牛 63 玉 53 牛 64 玉
 63 牛 55 玉 53 牛 54 桂 35 牛 65 玉
 63 牛 66 玉 65 牛 56 玉 55 牛右
 まで 59 手

【作者コメント】

大將棋・猛牛、そして近鉄バッファローズ…時の流れに消え去ったもの呼び戻し、往時の幻影に浸るのも時には良いでしょう。飛車と違って2マスしか進めない「限定走り」の特徴をうまく出すことができたでしょうか？

詰上図

取禁協力詰 59手

フェアリー駒=20S:牛#2

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
		皇	皇	皇	皇	皇	皇		二
		歩					歩		三
		皇		桂	飛	銀	皇		四
			牛	牛					五
				王	王				六
		香	歩	歩	歩	歩	香		七
									八
									九

持駒 なし

第59手目 55牛右 まで

★

牛という駒が飛に近いという事でその頭で解図していると40手目46とがおっと言うことになる。53牛は56には利きがないのだ。最後55玉に35牛と王手し65玉と逃げる手、そして63牛に66玉もらしい一手。最後に牛入りらしい手順が2つ入った事で作品がぐっと引き締まった。

解図の方針は取禁ということなので手が詰らない様に後手の飛、銀、とを組替えて行くわけだが、それプラス桂合に発想がいくかが解けるかどうかの分岐点だろう。私なんかうっかり合

駒があるということを忘れて解図しそうだ。

結果、正解者は作者を除き1名のみ。これは OFM でも苦勞するかもしれない。

若林

素直にバッファロー「ズ」ということかと思えます。ひょっとしたら近鉄への敬愛（桂合）も込められているかもしれません。一方手順は非常に苦しみました。54玉型で55牛まで、という形からなかなか離れられませんでした。偶然角が品切れになっていたの、何とか桂合という発想を得ることができました。なかなかキーの見えないパズルで、楽しませてもらいました。

雲海（コメントのみ）

「牛」といったらバッファローズだからオリックス・・・ではなくて近鉄ですか

★ 私などは牛といったら近鉄、そして広島 - 近鉄の日本シリーズ江夏の21球という連想になります。年ですかねえやっぱり。

NAO

降参します。出題の注記からすると、合駒（飛打ちか桂と予想）がありそうだが、巧い繰り替えをしないと牛が孤立してしまう。

総評

橋本孝治

今回の企画は、問題（詰将棋の方ではなく意味付けの方）がちょっと難解すぎました。持っている以上のユーモアのセンスを求められると、解答も出しづらいです。（というわけで普通詰将棋の作品展の方の解答はパスしました。）

NAO

久々に全国大会に参加し、七郎さん、加賀孝志さんらと少しお話をしました。加賀さんは、WFPをご存知なかったので、WFP24号の印刷したものを差し上げました。

赤土陽一

梅雨明けまで待っていたわけではありませんが、そろそろ就職戦線から抜けて、一息つけそうです。こちら、奈良市では、ゲリラ豪雨に2、3度見舞われ、近くの川があふれることもありました。そんなゲリラ豪雨を思わせるよう

な作品でした。

【解答成績】

全題正解：橋本孝治、若林

1題正解：雲海、NAO、赤土陽一

Fairy of the Forest#24

本号で開催予定の Fairy of the Forest#24 ですが、投稿作が少ない為、急遽締切を1ヶ月延ばし8月15日投稿締切、WFP次号にて作品展開催とすることとなりました。心待ちにされていた方、まことに申し訳ありませんが1ヶ月お待ち下さい。

そして皆さん七枚の駒を持って協力詰を創ってみてはいかがでしょう？

課題：使用駒（または盤面）七色

投稿締切 2010年08月15日

投稿先：

酒井博久（sakai8kyuu@hotmail.com）

作品募集締切一覧

第9回詰四会フェアリー作品展

課題：桂が頑張っているフェアリー作品

投稿締切 2010年08月22日

（投稿先）

→たくぼん（takuji@dokidoki.ne.jp）

フェアリー作品であれば何でもOKです。いろいろな意味で桂が頑張っている作品をお考え下さい。

JIGSAW BOX#5

課題：玉、飛、金、香、歩5の9枚。±1枚可。

ルール：フェアリー詰将棋なら何でもOK

投稿／解答先：小峰耕希

jigsawbox@gmail.com

投稿締切：8月1日（日）

出題：8月20日（金）←WFP第26号掲載

解答締切：10月3日（日）←多少遅れ可

結果発表：10月20日（水）←WFP第28号に掲載

詰将棋メモ

推理将棋第 34 回出題解答

担当 タラパパ

出題日 : 2010年6月7日
 解答締切 : 2010年6月20日

34-1 初級 DD++さん作 勇み足 9手

「昨日将棋であつという間に負けちゃったよ」
 「どんな将棋だったんだい」
 「最初に 64 歩と突いたあと、玉を、 62、
 63、54、と進めたんだ」
 「それは危ないね。で、その後は何を指しだん
 だい」
 「9手で詰まされちゃったから、それだけしか
 指さないよ」
 「・・・」
 「空成って怖いんだね」

(条件)

- ・ 9手で詰んだ
- ・ 後手の着手は「64歩、62玉、63玉、54玉」
- ・ 空成があった

※ 空成とは、駒を取らずに成る手のことです。

出題のことば (担当 タラパパ)

63 から 54 へ上がった玉が、63 へ戻れない詰上がりとは？

追加ヒント：

5手目に取った駒を最終手に打ちます

推理将棋第34回解説 担当 タラパパ

DD++さんの特集いかがでしたでしょうか？

実はつい先日、詰工房の会合で、初めて作者にお目にかかりました。頭に描いていたイメージ通りでした。同時に DSK さん、はらたつとさんともお会いできて、つつい話が弾んでしまい、居酒屋さんに最後まで残っていたのが推理将棋関係グループでした (笑)

さて、作者の目指すところは、ひとことで「創意」と言えます。条件でも然り、手順でもまた然り。過去にない斬新さを狙います。

推理将棋 34-1 解答

▲7六歩、▽6四歩、▲3三角不成、▽6二玉、▲2二角不成、▽6三玉、▲6六角成、▽5四玉、▲3六角 まで9手

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	
二		飛								
三	歩	歩	歩		歩	歩		歩	歩	
四				歩	王					
五										
六			歩	馬			角			
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八								飛		
九	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 歩

後手の全着手が明かされ、それを見れば歩と玉以外は動かない。ここまではっきりしていれば、試行錯誤でも論理的な推理でも手順が組めます。それでいて推理将棋ならではのトリッキーな詰上がり。まさに初級にうってつけの問題でした。この詰上がりはスイリストにとって基本知識のようなものですが、出題用途に合わせるなど、条件を選べばまだ何度も使えそうです (笑)

さて、解図にあたって最大の手がかりは後手の最終2手。63玉～54玉と上がった玉が、止めの王手になぜ63玉と戻れないのかということ。考えられる理由は2つ。7手目に63玉に対して”王手”をかけた駒があり、その利きが

残っている場合が一つ。二つ目は、止めの駒の利きが 54 ばかりでなく 63 にも利くケース。

常識的に先手が使える駒は角しかありません。すると 63 玉に王手をかけるには、76 歩～33 角成～22 馬のような手で取った角を、74 角などと打つ手段しかなく、もう一手で詰めることはできません。残る可能性は一つだけ。54 玉のみならず 63 へも利きが通る最終手。すなわち 36 角と打って、合効かずで詰ませる手段です。

その時に 22 馬の利きだけでは塞げない逃げ道が 65。ここを塞ぐことのできる駒が 3つ（66 歩、77 桂、66 馬）ありますが、このうち空成条件を満たす 66 角成が正解になります。

はてるま 「定番の斜交い角の詰め上がりですが、余分を削ぎ落とした原型のような仕上がり。「空成り」という条件でまとめたのも玄人の味ですね。」

■推理将棋の基本形の一つ。ベテランには物足りなかったでしょうね。

ミニベロ 「さすがにここまで教えてもらうと分かりますね。この順をこう表現するとは気付きませんでした。でもこれくらい易しい啓蒙作も必要です。」

■詰将棋でいえば、3～5手詰でしょうか。

リーグ戦ファン 「トドメは▲36 角となることが明らかで、他に玉の動きを封じようと思うと馬が 66 にいるしかない。入門編として素晴らしいですね。」

■そう理解いただけると嬉しいです。

はなさかしろう 「角（馬）の斜め十字は魅力的な形。つい先日別の問題で見た時はクリーム煮のような濃厚な味付けでしたが、こちらは素材を生かしたシンプルな味わいの一品。推理将棋の魅力のひとつ、派手な詰め上がりが際立つ演出でした。」

■こうした浅漬けのお新香も美味しい。

中村雅哉 「知られた形なので成生さえ間違えなければ簡単。」

■たいていの作家が、条件を変えてなぜか一度は作る手順？（笑）

斧間徳子 「後手の指し手を全部オープンするなんて前代未聞。初級問題にこういうのもいいですね。」

■ここまでオープンしても、パズル性は失いません。

鈴木康夫 「45 馬までと思い苦労しました。」

■54 玉に 45 馬も一つの形ですが、45 が筋違い位置なので手数が足りません。

S.Kimura 「合駒が効かずに詰むとは、推理将棋は奥が深いですね」

■合効かずは推理将棋ならではの収束。これに魅せられるとハマるんです（笑）

竹野龍騎 「優しい条件に、心地よい手順。」

■その意見に賛成。

渡辺 「これは形を知っていれば易しいですが、初級と言うにはちょっと…」

■初級は苦しいですか？ 次のhiroさん（初挑戦）は苦労されたのでしょうか？

hiro 「角をどう活用するか苦吟して2枚を使って詰ますことに思い至りました。」

■初挑戦する方にとって、気付きにくい詰上がりなのですが、お見事！

隅の老人B 「「空成りがあった」で2度の角生を確定。易しい？けっこう苦しみました。」

■たった9手で空成はもったいなかるう！ そう思いますものね。

たくぼん 「さすがにこれだけ後手の手を教えていただければすぐに解けます。ボーナスですね」

■ふふふ、世間が不況なので、うちは夏のボーナス大奮発。

superkuppabros 「63 の位置を封じるため

には角しかないと考えたら分かりました。」

■ 63 封じこ解図のキーでした。

○術師 「この詰み形は自分でも作ったことがありますので、容易に解けました。」

■○術師さんなら作っていて当然かも。

作者 「推理将棋では条件の少なさや問題のシンプルさがよく重要視されますが、私は初級作品にはそれらよりも解答へのしっかりした道しるべと、推理将棋ならではの面白さの詰まった正解手順が大事だと考えています。この問題は後手の手を全開示しつつも、6段目の成という変な手や合駒なしの独特の詰みなどが含まれ、推理将棋を知らない人を誘い込む問題としてかなりうまく作れたと思っています。いかがでしょう。」

■いちいちごもつとも。ありがたい問題でした。

正解：17名

S.Kimura さん 斧間徳子さん
superkuppabros さん 鈴木康夫さん
隅の老人Bさん たくぼんさん 竹野龍騎さん
躑躅さん DD++ さん 中村雅哉さん
はてるまさん はなさかしろうさん
○術師さん hiro さん ミニベロさん
リーグ戦ファンさん 渡辺さん

34-2 中級 DD++ さん作
中央決戦 10 手

「さっき隣で指してた 10 手で詰んだ将棋、中央付近の着手ばかりだったね」

- 「着手があった筋は 3～7 筋の 5 つか」
- 「着手があった段も 3～7 段の 5 つだね」
- 「あの不成の手はちょっと意外だったな」

(条件)

- ・ 10 手で詰んだ
- ・ 着手があった筋は 3～7 筋の 5 つ
- ・ 着手があった段は 3～7 段の 5 つ
- ・ 不成の手があった

さて、どんな将棋でしょう？ 推理してくださいね。

※着手範囲制限に加え、5つの筋、5つの段、全てに着手する必要がありますのでご注意ください

出題のことば (担当 タラパパ)

55 を中心にした 5×5 マスの着手制限。玉も金も銀も動けないなら？

追加ヒント：

止めは小駒を打つ手です

推理将棋 34-2 解答 担当 タラパパ

▲ 7 六歩、▽ 3 四歩、▲ 7 七桂、▽ 6 六角、▲ 6 五桂、▽ 5 七角成、▲ 7 三桂不成、▽ 同桂、▲ 4 六歩、▽ 4 七桂 まで 10 手

詰り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香		銀	金	王	金	銀	桂	香	一
	飛								二
歩	歩	桂	歩	歩	歩		歩	歩	三
						歩			四
									五
		歩			歩				六
歩	歩		歩	金	桂	歩	歩	歩	七
	角						飛		八
香		銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 歩

非常に分かり易い作品。居玉を詰める代表的な手段は 3 つ。玉方の金に働くか、桂馬で吊るすか、両王手。

提示条件では金に働くも、両王手も無理ですから、事実上桂吊るしが確定します。47 桂または 67 桂で詰め上げるには、3 手で 57 に成駒を作り、残る 2 手で桂馬を取って打つか、4 手で 57 に成駒を作りつつ、残る一手で桂馬を取って打つ組み立てになります。その間に先手が

することは、桂馬を渡しに行くことと、47 又は 67 を空けること。

ここまで推理できたら、あとは簡単です。「不成の手があった」条件は何でしょう？

先手は 58 飛とできませんから、57 角不成からの桂吊るしはできません。すると不成は先手着手。先手の桂馬がびよんびよん跳ねて、後手陣までいくことが確定。3～7 筋条件から、止めの桂は 4 筋に決まります。

はてるま 「桂が敵陣まで跳ねて取られに行くのは想定外で、一番時間がかかりました。ユニークで解かせる気になる条件が秀逸。」

■手順は”これしかない”って内容なのですが、73 まで取らせに行くのはかなりのインパクト。

ミニベロ 「最初は、範囲指定かと思いました。この手順自体には既視感はありますが、こんな条件は初めてです。全く作意順を想像させないですね。」

■後手陣で桂を取らせる順、私には見覚えがないんです。解けていない作品が多いから？
(笑)

リーグ戦ファン 「57 に何か成って吊るし桂、以外にはありえず、一本道。57 にくるのは角なら 3 手、桂か歩なら 4 手。となれば角から試して・・・おや詰んじやった。57 に成る駒を桂にしても 10 手で詰みますが、その否定と本筋の限定とを兼ねて「不成」。なるほど。」

■初めに試みた順がビンゴだと幸せでしょ？
(笑)

はなさかしろう 「使える駒は角、桂、歩で最終手は 47 か 67 に桂、ということで手は限られているのですが、筋と段の条件をうる覚えにして暗算していたら 76 歩 74 歩 77 桂 73 桂 65 桂 同桂 46 歩 57 桂成 36 歩 47 桂やその鏡像などが出てきて条件を見直すことに。「不成の手があった」というのはしゃれた決め手でした。」

■私も解くときはだいたいそんな感じです。そのまま解答して恥をかいたことも幾度か (笑)

中村雅哉 「確かに詰ますには桂しかなく、先手は基本的に 46(66)歩と桂活用くらいしか指す事がないので、考えやすい。」

■まささんクラスなら秒殺ですか。

斧間徳子 「着手のあった筋と段を領域で指定するなんて前代未聞。57 に成るのは角か桂の二択なのでやさしい問題。」

■筋と段が共通の”3～7 全て”で収まった点が、単に幸運だけで済まない価値でしょう。

DD++ 「吊るし桂までがすぐ見えても、桂の入手方法や不成条件に困惑した方が多いと思います。先手桂 3 段跳ねの不成を一瞬で見抜いた方はお見事。条件は「範囲内全筋全段着手」なのですが、単なる範囲限定にも見えなくもないことに気づいたので、後から念のため補足を入らせていただきました。日本語って難しいですね。素早くご対応いただいたタラパパさん、TETSU さん、ありがとうございました。」

■担当が気付くべきところ、逆に気付いていたいて (汗)

鈴木康夫 「初級より簡単でした。桂吊るしまでしかなく、57 の押さえも馬しかかないですかね。」

■そのご意見も想定内でした。

S.Kimura 「最初に、先手の桂馬を 77 で取らせようとして失敗しました」

■77 で取らせると、王手がネックになっちゃう。

竹野龍騎 「面白い条件。アタック 25。」

■そうそうあの番組、まだ続いているんですね。凄い！

渡辺 「居玉で 8 段目の手も指せないなら 57 に成駒を作っての桂吊りですが、その桂の入手が 5 段目では不成にならないので 3 段目まで不成で跳ねて取られる。すると 57 の成駒は馬で 34 歩→66 角→57 角成だから 7 筋を指すためには、76 歩→77 桂→65 桂→73 桂生、とすると 4 筋を指すには 46 歩から 47 桂生で作意になります。」

■完璧な推理でした。

隅の老人B 「最近、ナンプレパズルを解いている。手順を考えて、これで全マスが埋まった？です。」

■実はナンプレ、大好きなんです。ダイソーで本を買ったり、mixiアプリでやったり(^^)

たくぼん 「桂をどこで取るかが大きな謎でした。条件が巧みで 73 とはビックです。」

■推理を働かせると必然なのですが、「73 まで行くのか！」とビックリ。

superkuppabros 「▲4六歩が桂打の場所を作り、4筋の制限を外す好手(?)でした。」

■よくぞ4筋の手が残っていた。そんな感じでしょうか。

正解：15名

S.Kimura さん 斧間徳子さん
superkuppabros さん 鈴木康夫さん
隅の老人Bさん たくぼんさん 竹野龍騎さん
躑躅さん DD++ さん 中村雅哉さん
はてるまさん はなさかしろうさん
ミニベロさん リーグ戦ファンさん 渡辺さん

34・3 上級 DD++ さん作
しりとり 11 手

「11 手で詰んださっきの隣の将棋、なんだか変な将棋だったね。」

「どこが？」
「3回あった飛の手がどれも不可解すぎる」
「しかたないさ、あの2人はしりとり王としりとり名人なんだから」
「というと？」
「あの将棋は、最初から最後まで着手地点がしりとりになっていたんだよ」
「ほ、本当だ！」

(条件)

- ・ 11 手で詰んだ
- ・ 飛の手が3回あった

・ 着手地点がしりとりになっていた
(互いに直前の相手の手の段と同じ数字の筋に着手し続けた)
しりとりは例えば、
76 歩、64 歩、44 角、42 銀、26 歩、
65 歩、53 角成、34 歩、42 馬……。
という感じですね。もちろんこれは詰んでいませんが。

出題のことば (担当 タラパパ)

無駄手をうまく活用した手順を考えてください。

追加ヒント：

3回あった飛の手、すべてが『詰』に無関係な無駄手です

推理将棋 34・3 解答 担当 タラパパ

▲2六歩、▽6二飛、▲2五歩、▽5二飛、
▲2四歩、▽4二玉、▲2三歩不成、▽3二玉、
▲2四飛、▽4二銀、▲2二歩成
まで11手

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀	金		金		桂	香	
二					飛	銀	玉	と		
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	
四								飛		
五										
六										
七										歩
八										
九	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 角

着手地点がしりとり、斬新というかアホらしいというか、いったい誰がこんな条件を思いつくものか。中級作品もそうなのですが、この作者の趣向設定には新鮮な驚きがあります。

角が活躍する推理将棋の常道は通じません。
76 歩と指しても、先手が3段目の手を指すまで後手は 34 歩と指せず、さりとして 33 角成と

指すにも、後手が3段目の手を指した次の手でしか指せないとすれば、事実上88角は動きがとれません。

茫洋とした条件に見えますが、先手の駒を後手玉に近づける方法は？と考えると解決します。先手が一つの筋(n筋)に、後手が一つの段(n段)に指し手を集中したら、双方の駒が一つの地点に向かう。そのベルトコンベアに後手玉を乗せてやるのです。それができるのは二段目しかありません。詰に貢献しない飛の手3回が、どことなくユーモラスです。

はてるま 「雲をつかむような条件と見えたが、ひらめき一発で解けました。しりとりでもありますが、回文にもなっているんですね。24飛がいい味です。驚きのユーモア作。」

■という短評と解答のあと...

はてるま 「いま間違いに気付きましたので、修正版を送ります。「飛の手3回」の条件を忘れてました」

■意外に多いのがこの”条件忘れ”。いやあ危ない！

ミニベロ 「アイデアの勝利ですね。ほんとうにこれだけで限定できてるの？」

■いやあ、この条件にはビックリしました。まさにアイデア。

リーグ戦ファン 「後手が指しやすいのは2段目の手で、先手は2筋の手は詰めに向かいやすい。これしかないでしょう。」

■そのことにいつ気付くかで、解答者にとって難度が変わってきます。

はなさかしろう 「これまでの推理将棋とは違った新種のパズルのようでした。条件を見た瞬間、どうやって解くのかと思ったのですが、初手は6段目か8段目、2手目は62か64か84、3手目は48か46か26歩か(76歩-44角か(26歩-25歩か27飛...と、初型の特性上着手の分枝が思いのほか広がらないことと、一連の手順で一方の着手がn筋に偏ると相手の着手はn段に偏ることに気づきました。そこで2筋歩突きを試みると「飛の手が3回あった」でニヤリとすることに。解く方としてはこれで楽しめて良いのですが、

悲しい性で他になにかないか気になってしまいます。とりあえず提出して解答発表までもう少し考えてみたいと思います。」

■駒を動かしていると、この条件の特徴が掴めるということですね？ ところでしりとり条件、他にも宝が埋まっている可能性があります。

中村雅哉 「雲を掴むような条件に見えたが、2筋を伸ばせばよさそうな事に気付いて視界が開けました。」

■やはりポイントはそこなんですね。2筋に早く気付けば易しく、思いつかないと難しい。

斧間徳子 「着手地点がしりとりだなんて前代未聞。この条件は斬新ですね(後続作が出そうな予感も)。ちょっと考えると、先手は2筋を突いて行くのがよさそうとわかる。「飛の手が3回」あるけれどその全部が無駄手というのも面白い。」

■その無駄手が、手と手を繋げる接着剤になっていることから、名脇役といえるのかもしれない。

鈴木康夫 「最初は23歩成までとしました。近くでしたが。」

■2筋2段に気付いた方は、たいていそう思ったのでは？

S.Kimura 「冒頭で「無駄手をうまく活用」とあったので、7手詰+無駄4手を予想し、たまに出てきて苦しめられる飛車先の歩を突いていく7手詰を考えたら、幸いにも正解手順が見つかりました」

■勘が冴えてますねえ。

竹野龍騎 「面白い条件。2筋と2段目ということなのですね」

■双方が22へ向かって行進。

渡辺 「しりとり条件から2筋攻撃が第一感だと思います。とすれば作意の発見自体はそこまで難しくないとと思います。」

■2筋攻撃を第一感にできれば...ですけど。

hiro 「ぶしつけな質問かと思いますがよろしければ平成 21 年度の看寿賞候補作品を教えてくださいませんか。」

■詰将棋パラダイスのサイトで受賞作が発表されていますので、ご覧ください。

(TETSU : 平成 21 年度看寿賞をごらんください)

隅の老人 B 「いろいろな条件を考え出すと感心。歩生が妙手。上級?意外と簡単でした。」

■歩生は手筋ですから。

たくぼん 「第一感が正解でした。それにしても面白い条件です。」

■冗談のような...

superkuppabros 「飛車先の手筋しかないと決めてかかりました。間違えてたらハマったところですよ。」

■とりあえず 76 歩と突いて、「困った」という人、出てこないもんですかねえ (笑)

作者 「推理将棋の歴史上、似たものすらないであろう珍条件を据えてみました。最初はしりとりと「4 回動いた駒がある (後手玉)」で作ったのですが、あまりにも作意が見えにくそうだったため、動けば必ず 2 か 8 が出る飛の条件に変えました。理詰めよりも感覚で解くことになる問題なので、中級より簡単に感じた方から完全にお手上げの方までいらっしゃるでしょうね。」

■破天荒な条件、たいへんお見事でした。

正解 : 15 名

S.Kimura さん 斧間徳子さん
superkuppabros さん 鈴木康夫さん
隅の老人 B さん たくぼんさん 竹野龍騎さん
躑躅さん DD++ さん 中村雅哉さん
はてるまさん はなさかしろうさん
ミニベロさん リーグ戦ファンさん 渡辺さん

総評

ミニベロ 「この人の才能は素晴らしい。創作に解答に、まささんや dsk さんのように育って欲しい逸材です。」

■詰将棋畑の方ではなく、純粹にパズルとして捉えていらっしゃる。それにしても力がありすぎ。

作者 「個展の開催、ありがとうございます。しかし何ともカネの動かない個展ですいません (笑)。金銀の手が 3 問あわせて 30 手中 1 手だけ、しかも守備外し目的の手という。私が推理将棋を知ったのはおもちゃ箱のこの場にて、第 28 回の締切当日でした。

当然そこから解いての解答投稿は間に合わなかったのですが、その問題の面白さにのめりこみ今ではこの有様です。今回の解答締切日でそれからちょうど 7 ヶ月になるのですね。これからは面白い作品をドンドン作っていくつもりですので、どうぞよろしくお願ひいたします。」

■こちらこそ宜しくお願いします。

はなさかしろう 「特集を解くととりわけ感じるのですが、作風というのはやはりあるんですね。今回は DD++ さんのシンプルでユーモアの利いた作風を堪能しました。」

■推理将棋にも作風は出ますよ。条件にも手順にも。

中村雅哉 「今回は易しかったです。いつも難問ばかりで全く手が出ませんのでこのくらいの作品を続けてもらいたいです。」

■うへん、易しすぎたか?

推理将棋第 34 回出題全解答者 : 17 名

S.Kimura さん 斧間徳子さん
superkuppabros さん 鈴木康夫さん
隅の老人 B さん たくぼんさん 竹野龍騎さん
躑躅さん DD++ さん 中村雅哉さん はてる
まさん はなさかしろうさん ○術師さん
hiro さん ミニベロさん リーグ戦ファンさん
渡辺さん

当選 : superkuppabros さん
おめでとうございます。

～1手詰?コンクール～追記

担当：神無七郎

「1手詰?コンクール」の【課題A】について雲海氏より記録を更新する改作案が送られてきました。構造自体はNAO氏の作と同様ですので、あくまでかいさく改良の提案としての位置づけです。送られてきた図は2種類あり、一つは構図をコンパクトにまとめたもの、もうひとつは成駒をなくしたものです。

〔雲海氏による改作案1〕

1手/67手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									▲なし
									なし
									なし
									なし
							龍	飛	五
							皇	角	六
								王	七
							イ	イ	八
									九

1) 38 龍 まで 1手

2) 38 龍

「28歩 同角 17歩 同角」× 8

「28香打 同角 17桂打 同角」× 3

28角 同角

「17銀 同角 28金 同角」× 3

17銀 同角 28と 同角 17金 同角

28香成 同龍 まで 67手

〔雲海氏による改作案2〕

1手/67手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									▲なし
									なし
									なし
									なし
							飛		三
									四
							皇		五
								飛	六
							皇	角	七
								王	八
							イ	イ	九

1) 38 飛成 まで 1手

2) 38 飛成

「28歩 同角 17歩 同角」× 9

「28香打 同角 17桂打 同角」× 3

28角 同角

「17銀 同角 28金打 同角」× 2

17銀 同角 28金 同角 17銀 同角

28香成 同龍 まで 67手

手数が65手から67手へ2手伸びました。この課題における早詰防止の困難さを考えれば、これを双玉ではなく単玉の構図で実現したのはお見事。改作案2のように「と金」を「金」に替えても早詰がないことも意外です。

手順を見てみると合駒の順番が「歩香桂角銀金」となっており、角を中間に挟んでいることに気付くと思います。このおかげで手順の後半にいくにつれて増える紛れが、作意より長手数になっています。

あえて難点を探すとすると、2)の最終手に合駒を取る以外の同手数別詰(27銀)が生じていることですが、今回の課題設定では合駒を取らない同手数別詰の排除までは求めていないので、条件は満たしています。ただ、これを防いだときと防がないときの記録は厳密には別々に扱わないといけませんね。

補足：【課題A】と【課題B】の違いについて

この改作案について雲海氏とメールでやりとりしていたときに気付いたのですが、両者の違いについて説明不足の点があったようです。

【課題A】は間接両王手や間接開き王手の無駄合が対象でした。これは「すかし詰」における無駄合と同じく次の性質を満たしています。

合駒を取った直後の局面は「詰」または「無駄合以外の受けがない状態」である

今回の催しで出題した多重の間接開き王手作品は、一見すると「原型復帰型無駄合」的に見える部分はありますが、実際には上の性質を常に満たしています。【課題B】はこの性質を持たない(合駒を取った後の局面が「詰」でもなく、合駒以外の手もある)ので、そこが【課題A】との構造的に違う所です。

今後、記録更新を狙う方も上記の点に注意してどちらの分類に入るかを確認してください。

以上

妖精賞の系譜 (12)

第 15 回 妖精賞 (2002年)

この期も、読者投票による選考を行い投票者が9名。集計の結果妖精賞を決定した。

【短編部門】

詰将棋パラダイス 2003 年 2 月号

神無太郎 作

対面ばか詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
					糸				五
						王			六
					ス		雀		七
									八
									九

持駒 飛2

16 飛 15 桂 26 飛 25 桂 34 飛 迄 5手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
						飛			四
					糸		桂		五
						王		飛	六
					ス		雀		七
									八
									九

持駒 なし

片岩裕貴 (妖精賞発表時コメント)

今期の短編部門は、簡素な初形から意外な両王手で詰め上げる神無作がもず作2作を抑えて

受賞しました。

解説 (片岩裕貴)

飛2枚による両王手の詰上りが感動的です。この両王手の原形は86年7月号佐々木浩之作だと思いますが、角対を桂対にしたことでコンパクトな表現になりました。

参考 佐々木浩之作 対面ばか詰5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
					ス		ス		五
						王			六
					ス		ス		七
									八
									九

持駒 飛2

* 作意は 17 飛 16 角 27 飛 26 角 54 飛 迄 余詰順は 47 飛 58 玉 48 飛 59 玉 49 飛打 迄 1つ上に上げて 53 成生非限定や 59 飛が生じるのでダメ

市村道生

詰めて惚れ込む粋な小品。永久保存局。

k z

こんな両王手見たことない！かなり感動。

森美憲

玉方の桂馬の動きが面白い。

★ 佐々木作が完全であれば言うことないのだがさすがに余詰ではいけない。太郎作は佐々木作の角対のところを桂対にして配置が1枚減ということである程度の評価は出来ると思う。(作者が佐々木作を知っているとの前提で書いてはいますが)とにかくそのルールにしかできない詰上りというのはフェアリー詰将棋の面白さの1つと言える。皆さんもいろいろな詰上り考えてみてはいかがでしょうか。

【中編部門】

詰将棋パラダイス 2003 年 4 月号
 加賀孝志 作
 ばか詰 17 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
				と		と			三
					歩				四
				歩					五
				と					六
		歩							七
				王	ス				八
							歩		九

持駒 なし

57 と 68 玉 67 と 58 玉 68 と 47 玉
 57 と 37 玉 38 歩 36 玉 37 歩 35 玉
 36 歩 44 玉 34 と 45 玉 35 と まで 17 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
				と					三
									四
				歩	王	と			五
						歩			六
		歩		と					七
					ス				八
									九

持駒 なし

片岩裕貴（妖精賞発表時コメント）

加賀作の豆腐図式のばか詰が受賞しました。昨年の中編は印象に残るような作品が少なかったように思います。

片岩裕貴（担当）

伝統ルールでもそうですが、豆腐図式だと奇抜な手を入れるのは難しく、どうしても地味な手順になってしまうようです。本作も例外ではないのですが、条件の厳しさゆえやむをえない

部分もあると思います。

永遠旅人

39 歩の前進が意外だが頼もしい。

歩詰京平

おもしろいです！最高のパズル！

今川健一

たったの2手縮めるのに、2時間。歩を突いて行くとはね。

★ たくさんの人に考えてもらって、解けた喜びを感じてもらえる。投票でトップを取った理由も分かるような気がします

【長編部門】

詰将棋パラダイス 2003 年 6 月号
 神無三郎 作 ばか詰 205 手「霧姫」

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
歩	歩	銀	銀	歩	歩	銀	銀	歩	五
金	香	飛	香	王	歩	金	飛	金	六
歩		歩	香			香	歩	金	七
	歩		王					歩	八
					角	歩		角	九

持駒 歩

69 歩 同玉 58 角 78 玉 69 角 89 玉
 78 角 98 玉 87 角 89 玉 98 角 78 玉
 89 角 69 玉 78 角 58 玉 69 角 49 玉
 58 角 39 玉 28 角 38 玉 49 角 48 玉
 39 角 59 玉 48 角 69 玉 58 角 78 玉
 69 角 89 玉 78 角 98 玉 87 角 89 玉
 98 角 79 玉 57 角 68 歩 同角 69 玉
 87 角 78 歩 同角 58 玉 69 角 48 玉
 57 角 38 玉 47 角 49 玉 38 角 59 玉
 48 角 69 玉 47 角 58 歩 同角 78 玉
 69 角 89 玉 78 角 98 玉 87 角 89 玉
 98 角 79 玉 57 角 68 歩 同角 69 玉
 87 角 78 歩 同角 58 玉 69 角 48 玉
 57 角 38 玉 47 角 49 玉 38 角 59 玉
 48 角 69 玉 47 角 58 歩 同角 79 玉
 57 角 68 歩 同角 88 玉 89 歩 87 玉
 69 角 78 歩 88 歩 同玉 79 角 同歩成

89 歩 98 玉 87 角 89 玉 98 角 78 玉
 89 角 69 玉 78 角 58 玉 69 角 49 玉
 58 角 38 玉 39 歩 29 玉 47 角 38 角
 同角 39 玉 28 角 48 玉 39 角 59 玉
 48 角 68 玉 57 角 59 玉 68 角 同玉
 69 歩 同玉 47 角 58 角 同角 78 玉
 69 角 88 玉 89 歩 同と 99 角 同と
 89 歩 98 玉 87 角 89 玉 98 角 78 玉
 89 角 69 玉 78 角 58 玉 69 角 49 玉
 58 角 38 玉 39 歩 29 玉 47 角 38 角
 同角 39 玉 28 角 48 玉 39 角 59 玉
 48 角 69 玉 47 角 58 歩 同角 78 玉
 69 角 89 玉 78 角 98 玉 87 角 89 玉
 98 角 79 玉 57 角 68 歩 同角 同玉
 69 歩 同玉 87 角 78 角 同角 58 玉
 69 角 同玉 47 角 58 角 同角 78 玉
 69 角 89 玉 78 角 88 玉 89 歩 98 玉
 87 角打 まで 205 手

詰上図

										一
										二
										三
										四
歩	歩	銀	銀	歩	歩	銀	銀	歩		五
金	香	飛	香	王	歩	金	飛	金		六
歩	角	歩	香			香	歩	金		七
王		角						歩		八
ス	歩									九

持駒 なし

片岩裕貴（妖精賞発表時コメント）

密室の中での角追いを中心とした難解なばか詰の神無三郎作が受賞しました。票数としては森作 2 作に迫られましたが、昨年の長編の中でははっきり抜け出していたと思います。

解説（神無七郎）

今回の最難解作にして極めて高度なパズル。歴代のばか詰の中でも最上位に位置付けられるべき作品です。技法的には入玉形での「2 枚角追い」。詰上りの予想が難しい上に、歩の枚数の制約が手順を変則的で極めて難解なものにしています。

市村道生

立体の図形パズルを解く感じの、本格的な推

理作品。高級で知性に溢れた傑作。特に、難解な手順はないし、手数もそんなに長くないのに、大変苦勞した作品です。3つの部分（79歩成まで、99とまで、詰みまで）の中で、夫々、取る歩の枚数と、そのための最短手順の検討が本局の課題と思いますが、（8枚、1枚、0枚）で早詰があると錯覚したり、（7、1、1）（5、2、2）など紆余曲折、悪戦苦闘でした。その原因の1つとして、「多くの駒を早く取る」という原則に反する所が、第1部分の手順に2箇所、最終部分に1箇所あり、軌道の修正が心理的に困難であったことも挙げられます。最終的に（7、0、2）で作意手順に収斂した時の感激は、解図者だけが体験できる醍醐味。

★ 正解者はわずかに3名。私には解く自信はない。とにかくばか詰作品中トップクラスに君臨する作品であることは間違いないだろう。

解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

8月7日（土）

Onsite Fairy Mate 161 回出題
 * 牛入り取禁協力詰 1 題

8月15日（日）

第23回WFPフェアリー作品展

2010年 第25号

Web Fairy Paradise

非売品

平成二十二年七月号

平成二十二年七月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合先

須川卓二 takuji@dokidoki.ne.jp